

CASBEE神戸 ver.2 【仮称】さくら浅川ビル建替え計画		■使用評価マニュアル: CASBEE神戸 ver.2 ■評価ソフト: CASBEE神戸 ver.2 / CASBEE-BD_1				
スコアシート 実施設計段階		欄に数値またはコメントを記入				
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-	<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.9</b>	0.15	<b>3.2</b>	1.00	<b>3.5</b>
1.1 騒音		3.0	0.49	3.0	0.50	
1.2 遮音		<b>5.0</b>	0.49	<b>3.4</b>	0.50	
1 開口部遮音性能	開口部遮音性能T-2	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	2.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.02	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.61	3.0	0.63	
2 外皮性能		3.0	0.36	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.03	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.3</b>	0.25	<b>3.2</b>	1.00	<b>2.9</b>
3.1 昼光利用		1.9	0.32	2.9	0.30	
1 昼光率	住宅用途住居部: 3~11階寮室(2) 1.75%	1.0	0.53	4.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.47	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		2.0	0.27	4.0	0.30	
1 昼光制御	住宅部:カーテン、庇で制御	2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.13	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.28	3.0	0.25	
<b>4 空気質環境</b>		<b>4.1</b>	0.25	<b>4.3</b>	1.00	<b>4.2</b>
4.1 発生源対策		5.0	0.59	5.0	0.63	
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆使用する	5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	
4.2 換気		3.0	0.39	3.3	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能	居室面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保している	3.0	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		1.0	0.02	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	1.00	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.8</b>	0.40	<b>4.2</b>	1.00	<b>3.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応	光ケーブル用機器スペース	3.0	-	5.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ感・景観	物販店舗天井高3.5m、住宅部天井高2.4m	4.0	0.04	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		2.0	0.04	-	-	
3 内装計画		3.0	0.92	3.0	0.50	
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		2.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.30	-	-	<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	アクリル系吹付タイル40年	5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	上位3種がB以上、Eは不使用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.6	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.03	2.2	0.50	
1	階高のゆとり	物販用途: 4.73m	5.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	物販用途: 0.22	4.0	0.40	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.03	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.93	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			2.7	0.20	-	-	2.7
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.96 住宅(専有部) 0.92	4.4	0.50	-	-	4.4
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	3.0	0.11	-	-	
		集合住宅の評価(3c) LED照明等の高効率設備機器の採用	4.5	0.89	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価	3.0	0.11	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
		集合住宅の評価	3.0	0.89	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		RC-40(路盤材)	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		防水工事のプライマー	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		LCGO2排出率=93%	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	